

2025年3月30日（主日礼拝）

■招詞 ヨエル書 2:12-13a 「今こそ、心からわたしに立ち帰れ／断食し、泣き悲しんで。
衣を裂くのではなく／お前たちの心を引き裂け」

■礼拝の祈り

天におられます父なる神よ、

<礼拝の招きへの感謝>

今朝もこうして礼拝に集まることができました。あなたがわたしたちを呼び集めてくださり、お応えすることをゆるして下さったからです。今、主のご受難を特別に思い起こしながらレントを過ごしています。主の十字架のもとにひざまづく思いでこの礼拝に集っています。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

祈り深く歩みたいと願い、主イエスの十字架を見上げようとしたとき、まさに、自らの罪深さを顧みることになります。日々の生活の中で頭をもたげてきた愚かな思いや疑いの心が耳をふさぎ、目をおおい、そして心を閉ざしてしまい、あなたの恵の言葉を聞くことから自分自身を遠ざけてしまいました。ともに生活する家族にすら愛をそそぐこと少なく、祈りを必要としている人がいるのに、祈りを怠ってしまいました。心を寄せ、受け入れるべき人を傷つけ、顔をそむけてしまいました。

けれども神よ、わたしたちはわかっています。神などいなくても一人で生きていけるというのはまやかして、悪魔の誘惑ですらあり、あなたなしには1日も生きていけず、一步も歩けません。けれども、自分ではどうしようもないのです。罪からのがれることができません。かえって喜んで罪を犯してしまう始末です。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

ですから神よ、どうかわたしたちを憐れみ、もう一度赦しの恵の中に導き入れてください。御言葉によってわたしたちの心を開き、主の十字架を迎えさせてください。わたしたちを御言葉みだし、主イエスのご支配のもとにこそ生きるべき道があることを教えてください。そのよろこびを味あわせてください。

御言葉をお与えください。御言葉によって主の十字架の赦しと復活のまことの命に、もういちどわたしたちを生かしてください。この礼拝を御言葉で満たしてください。

主イエス・キリストのお名前によって祈ります。アーメン

2025年3月30日（主日礼拝）

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<十字架のもとに祈る受難節としてください>

レントを歩んでします。主イエスのみ苦しみ、何よりも十字架を覚えてイースターまでの歩みを導いてください。あなたの御前にわたしたちは何者でもありません。しかし、あなたは限りのない憐れみによってわたしたちを救い、あなたの子として取り戻してくださいました。そのために、わたしたちが味わうべき苦難を主イエスが味わい、受けるべき死を主イエスが受けてくださいました。このレントの時、あなたの憐れみの結晶であるこの主イエスの十字架を見上げ、悔い改めの祈りの中、あなたへ立ち帰る歩みを歩むことができますよう、導いてください。

<一年度の歩みの感謝と新年度の導きを求めて>

年度が終わろうとしています。この一年度、あなたがあらゆる恵みを与えてくださったことを感謝いたします。友や家族との別れがあり、病や体の衰えがありました、人生の歩みをとめ、たちつくしてしまうことがありました。それでもあなたは癒しを与え、支え、道を示してくださいました。この藤沢北教会での礼拝を続けさせてくださり、毎週主の日にかかさず恵みの御言葉を与えてくださいました。わたしたちは何よりもこの御言葉によって命が与えられ、死をも乗り越える希望を与えられました。主がともにいてくださる。この深い恵みに生かされたことを感謝いたします。

新しい年度を迎えようとしています。あなたがすべてを導いてくださいますように。わたしたちはひたすら主を信頼し、すべてを委ねて歩みたいと願います。主に従う道をお示してください。

<困難な状況の中にある人を助けてください>

心や体に病、悩みを負っているものがおります。どうかそのようなものたちに御顔を向けてください。あなたに救いを求める祈りを確かにさせてください。憐れみの主が生きておられることを示してください。信仰において互いに祈り合う道を教えてください。

大きな地震がミャンマー、タイであったことを聞きました。困難の中にいる人達、大切な人を失った人たちを助け、救いの御手をさしのべてください。そのためにどうかわたしたちをお用いください。

<祈りをますます深くしてください>

御言葉をたずさえて、それぞれの世での持ち場へと送り出されます。そこにも主がいてくださり、わたしたちは主に従います。そのために祈りをますます深くしてください。

■祝福

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。